

Episode20:「市大へ行こう! 2013」

大阪市立大学 杉本キャンパス

平成 25 年 4 月 29 日(月・祝)進路指導部



4月29日(月/祝)に大阪市立大学で実施された、「数学と理科の好きな高校生のための市大授業」と「文学部を知りたい人のための市大授業」に参加しました。この催しは毎年春・秋の2度行われており、今回で11回目になります。

今回、「数学と理科の好きな高校生のための市大授業」には30人、「文学部を知りたい人のための市大授業」には13人参加を希望し、昨年本校からの参加者に比べると大幅に増えています。これはみんなの大学への興味・関心が次第に大きくなっている表れではないでしょうか。

『数学と理科の好きな高校生のための市大授業』

理学部の講座では、大阪市立大学の理学部の5学科(数学科、物理学科、化学科、生物学科、地球学科)からそれぞれ1つずつ講義が行われました。理学部というのは、物理法則や物質・生物・自然現象のようなありとあらゆる原理そのものに関心を持ち、その原理を追求し、さらにはその原理を展開・再構築していくことを中心とする学部であり、一言で表すと“その学問を研究することに重きを置く学部”です。

普段の学校では行われないような各学問のより深い内容の講義に対して団員の目は真剣そのものであり、少しでも多くのものを得ようとする姿は、誇らしくもありました。多くのことに興味を持つという姿勢もあり、参加した団員の全てが1限目・2限目の両方の講義を受講し、非常に意欲的に参加してくれました。今回講義が行われた教室も普段大学生が講義を受けている教室であったので、大学がどのような場所なのか、講義とはどんなものなのか、大学のパンフレットを見るだけではわからないものを体感することできた非常に良い経験になったのではないのでしょうか。



『文学部を知りたい人のための市大授業』



文学部では、哲学・心理学・歴史学の講義を受けることができ、また講義後は、「文学部生とのフリートーク」ということで、大学生との交流する場を設けていただきました。

講義は、それぞれの教室で行われ、大学特有の大教室ではなく、30人程度のせまい教室でゼミのような形式で行われました。講義内容に関しては、「難しかった」という声が多く、特に4年生にとっては、倫理などを学校で履修していないので、内容が頭に入りにくかったのではないかと思います。しかし、大学の講義を肌

で感じるという意味では、非常に参考になったのではないかと感じました。

「文学部生とのフリートーク」では、学生の方が中心となり、5~6人ほどのグループをつくっていただき自由にコミュニケーションをとれる環境でした。最初緊張した表情でなかなかうまくしゃべれない様子でしたが、学生の方がうまく会話できる雰囲気をつくってくれたので、最終的には集合時間に間に合わなくなってしまうぐらい、時間を忘れて交流することができました。終了後は、文学部棟の前で記念撮影を行いました。みんな満足そうな笑顔だったので、非常に充実した時間が過ごせたのかなと思いました。

今回のRYS20では、文学部の学生が主体となって運営していただき、非常に良い雰囲気で一日を過ごすことができました。この経験をした本校の生徒が、実際に大学生になったときに今回のような企画を、自分たちが主体となって運営できるようになってくれたらいいなと、一日「市大授業」に参加して感じました。今回のRYSを通じて学んだことや大学生に教えてもらったことを、日々の学校生活で実践してくれたらなと思います。



【授業の様子】



日本一の図書館『学術情報総合センター』を見学しよう！！



理学部・文学部のそれぞれの講義等が終わった後、一度再集合し『学術情報総合センター(通称：学情)』の見学に向かいました。この『学情』は大阪市立大学が誇る施設の1つで、2010年ベネッセによる大学満足度ランキングにおいて図書館の利用者満足度ランキング1位になった日本有数の図書館でもあります。



今回一般公開されたのは、1Fから5Fまでであり、そこには、比較的身近な書物や雑誌が置いてある図書館フロア、コンピュータールームやグループ研究室など個人や集団で研究が行うことができる施設のあるフロア、広い談話室のあるリラクセスできるようなフロアや数多くの自習ブースのあるフロアなどがあり、地域住民にも開放している部分でした。大学図書館ということで、難しそうな本ばかりでしたが、大学の雰囲気味わえ、いい経験になったと思います。ラーニングスペースが充実していたので、自習机に座って大学生のように勉強している生徒もいました。さらに、今回は特別に、一般公開されていない地下施設も見学させてもらうことができました。そ

のフロアには各学問の専門的な書物、雑誌や洋書などが多く、参加した団員たちも普段見慣れない書物に興味津々であり、真剣なまなざしで書物に目を通して団員を見ると、今回の学術情報総合センター見学の大きな意義になったように感じます。



◆ 団員の感想 ◆

- ✚ 大学の授業のレベルの高さを感じた。3年後はこんな授業を受けてみたいと思う。(4年男子・理系)
- ✚ カビは嫌な存在でしかなかったけど、授業を受けてみてカビについて興味を持ちました。授業は楽しかったし、わかりやすかったです。(4年女子・理系)
- ✚ まとめプリントや資料、説明がていねいでとても理解できた。図での説明も多かったのが楽しかったです。大学の講義っていいなと思った。(4年女子・理系)
- ✚ 超伝導と超流動の説明が特にわかりやすかった。実験の様子を映像で見ることができたので少し興味がわいたと思う。他にもグラフや図を使っての説明が多かったのが、聞いている側もわくわくしながら聞くことができた。(4年男子・理系)
- ✚ 「文学部生とのフリートーク」でサークルや留学など知りたかったことが聞けました。高校生活や勉強の仕方、何を勉強していれば役に立つかなど、話してくれたので実行してみようと思いました。(4年女子・文系)
- ✚ フリートークを聞いて、最初は緊張してしゃべれなかったけど、大学生の人たちが優しくいろんなことを教えてくれました。市大のことをいっぱい聞けたし、勉強は高校1年の間は日々の小さな学習が大事だということが分かりました。(4年女子・文系)
- ✚ 市大生とのフリートークがとても盛り上がりました。全く関係のないことまで丁寧に教えてくれた先輩方を見て、市大に行くかどうかは関係なく、「こんな先輩になりたい」と思えました。最後にもらったコメントカードもすごく励みになりました。(5年女子・文系)
- ✚ 講義の話は難しすぎて、なんとなくしかわからなかったけど、フリートークでは話が盛り上がりすぎて、集合時間に間に合わなかった。(6年男子・文系)
- ✚ フリートークはなんだか友人と話しているようで楽しかった。大学生を身近に感じられた気がする。(6年女子・文系)

